

## 2 30年度の状況

### (1)水産物部

#### ①取扱高及び収益状況

事項		30年度	29年度	前期比(%)
総取扱金額(売上高)		4,699億6,819万円	4,848億5,658万円	96.93
卸売業務	数量	377,613トン	403,453トン	93.60
	金額	4,007億6,650万円	4,163億7,558万円	96.25
受託物品	数量	86,034トン	93,349トン	92.16
	金額	958億4,090万円	1,005億2,054万円	95.34
買付物品	数量	291,579トン	310,104トン	94.03
	金額	3,049億2,560万円	3,158億5,504万円	96.54
兼業業務	金額	692億170万円	684億8,100万円	101.05
売上総利益		219億1,963万円	222億2,206万円	98.64
受託販売手数料		52億6,922万円	55億2,680万円	95.34
買付販売利益		129億7,122万円	134億3,148万円	96.57
兼業業務利益		36億7,919万円	32億6,379万円	112.73
売上総利益率		4.66%	4.58%	
販売費及び一般管理費		212億4,918万円	214億1,025万円	99.25
営業利益		6億7,045万円	8億1,182万円	82.59
営業利益率		0.14%	0.17%	
経常利益		17億1,460万円	22億837万円	77.64
経常利益率		0.36%	0.46%	

水産物部は、前年度と比較し、減収減益となった。

受託・買付物品ともに取扱数量が減少したため、売上単価の上昇はあったものの、総売上高は、149億円の減収となった。

売上総利益は、兼業業務利益が増加したものの、受託販売手数料及び買付販売利益が減少したため、全体では3億円の減益となった。

また、販売費及び一般管理費は縮減したものの、営業利益は1億円の減益、経常利益は5億円の減益となった。

#### ②財務状況

事項	30年度	29年度	前期比(%)
総資産	1,078億9,524万円	1,078億4,459万円	100.05
負債	603億1,480万円	610億481万円	98.87
純資産	475億8,044万円	468億3,978万円	101.58
自己資本比率	44.10%	43.43%	
流動比率	153.77%	148.60%	

財務状況は、総資産は前年度とほぼ同じとなった。

純資産については、利益剰余金の増加等により7億円増加したことに加え、短期借入金の減少等により負債が減少したため、自己資本比率は0.7ポイント上昇した。

流動比率は、流動負債の減少率が流動資産の減少率を上回ったため、5.2ポイント上昇した。

(2)青果部

①取扱高及び収益状況

事項		30年度	29年度	前期比(%)
総取扱金額(売上高)		5,373億7,921万円	5,667億4,607万円	94.82
卸売業務	数量	1,936,496トン	1,978,376トン	97.88
	金額	5,111億775万円	5,369億9,827万円	95.18
受託物品	数量	1,214,545トン	1,233,870トン	98.43
	金額	3,269億2,487万円	3,455億2,443万円	94.62
買付物品	数量	721,951トン	744,506トン	96.97
	金額	1,841億8,289万円	1,914億7,385万円	96.19
兼業業務	金額	262億7,146万円	297億4,780万円	88.31
売上総利益		367億9,047万円	386億241万円	95.31
受託販売手数料		264億6,779万円	279億9,273万円	94.55
買付販売利益		79億3,679万円	79億1,993万円	100.21
兼業業務利益		23億8,589万円	26億8,975万円	88.70
売上総利益率		6.85%	6.81%	
販売費及び一般管理費		366億7,867万円	363億2,207万円	100.98
営業利益		1億1,179万円	22億8,034万円	4.90
営業利益率		0.02%	0.40%	
経常利益		8億3,199万円	29億7,780万円	27.94
経常利益率		0.15%	0.53%	

青果部は、前年度と比較し、減収減益となった。

受託・買付物品ともに取扱数量が減少し、野菜の売上単価も下落したため、総売上高は、294億円の減収となった。

売上総利益は、買付販売利益が増加したものの、受託販売手数料及び兼業業務利益が減少したため、全体で18億円の減益となった。

また、販売費及び一般管理費が増加したため、営業利益は22億円、経常利益は21億円の減益となった。

②財務状況

事項	30年度	29年度	前期比(%)
総資産	692億4,916万円	698億9,578万円	99.07
負債	197億5,878万円	212億7,245万円	92.88
純資産	494億9,038万円	486億2,333万円	101.78
自己資本比率	71.47%	69.57%	
流動比率	285.22%	273.24%	

財務状況は、売掛金の減少等により、総資産が6億円減少した。

純資産についても、利益剰余金の増加等により9億円増加したことに加え、受託販売未払金の減少等により負債が減少したため、自己資本比率は1.9ポイント上昇した。

流動比率は、流動負債の減少率が流動資産の減少率を上回ったため、12.0ポイント上昇した。

### (3)花き部

#### ①取扱高及び収益状況

事項		30年度	29年度	前期比(%)
総取扱金額(売上高)		807億5,655万円	817億2,472万円	98.82
卸売業務	数量	1,509,879千本	1,572,937千本	95.99
	金額	778億8,693万円	787億4,906万円	98.91
受託物品	数量	1,418,143千本	1,474,520千本	96.18
	金額	725億6,165万円	733億7,013万円	98.90
買付物品	数量	91,736千本	98,417千本	93.21
	金額	53億2,529万円	53億7,893万円	99.00
兼業業務	金額	28億6,962万円	29億7,565万円	96.44
売上総利益		78億4,864万円	78億6,270万円	99.82
受託販売手数料		69億9,002万円	70億7,723万円	98.77
買付販売利益		3億1,263万円	2億4,887万円	125.62
兼業業務利益		5億4,599万円	5億3,660万円	101.75
売上総利益率		9.72%	9.62%	
販売費及び一般管理費		77億5,954万円	77億5,906万円	100.01
営業利益		8,910万円	1億364万円	85.97
営業利益率		0.11%	0.13%	
経常利益		2億200万円	2億3,174万円	87.17
経常利益率		0.25%	0.28%	

花き部は、前年度と比較し、減収減益となった。

受託・買付物品ともに取扱数量が減少したため、売上単価の上昇はあったものの、総売上高は、10億円の減収となった。

売上総利益は、買付販売利益及び兼業業務利益が増加したものの、受託販売手数料が減少したため、全体で1千万円の減益となった。

また、販売費及び一般管理費は前年度とほぼ同じとなり、営業利益は1千万円の減益、経常利益は3千万円の減益となった。

#### ②財務状況

事項	30年度	29年度	前期比(%)
総資産	200億2,418万円	200億5,854万円	99.83
負債	112億6,846万円	112億4,473万円	100.21
純資産	87億5,573万円	88億1,381万円	99.34
自己資本比率	43.73%	43.94%	
流動比率	169.30%	171.18%	

財務状況は、総資産は前年度とほぼ同じとなった。

純資産については、1億円の減少であったため、自己資本比率は0.2ポイント下降した。

流動比率は、流動負債の増加率が流動資産の増加率を上回ったため、1.9ポイント下降した。

(4)各部門の比較

項目・部類	水産物部	青果部	花き部	計
総取扱金額(売上高)	4,699億6,819万円	5,373億7,921万円	807億5,655万円	1兆881億395万円
売上総利益	219億1,963万円	367億9,047万円	78億4,864万円	665億5,874万円
売上総利益率	4.66%	6.85%	9.72%	6.12%
販売費及び一般管理費	212億4,918万円	366億7,867万円	77億5,954万円	656億8,740万円
営業利益	6億7,045万円	1億1,179万円	8,910万円	8億7,134万円
営業利益率	0.14%	0.02%	0.11%	0.08%
経常利益	17億1,460万円	8億3,199万円	2億200万円	27億4,859万円
経常利益率	0.36%	0.15%	0.25%	0.25%

※つげ物・鳥卵及び食肉部を除く

総取扱金額(売上高)は、青果部が5,374億円と最も大きい。次いで、水産物部が4,700億円、花き部が808億円となっている。

売上総利益率(粗利率)は、花き部が9.72%、青果部が6.85%、水産物部が4.66%、と花き部が一番大きい。これは、総取扱金額(売上高)に占める受託販売の割合が93%を占め、受託販売手数料率も花き部が一番高いことによる。

営業利益率は、各部門とも、売上総利益が減少したことにより、前年度より低下している。

経常利益率は各部門において営業外損益がプラスであることから、営業利益率に比して高くなっている。

<参考>

1 営業利益率

営業利益とは、会社が本業から上げる利益のこと。売上から、原材料費や仕入れ費用、販売費及び一般管理費などの本業に関わる費用を差し引いて求めたものが営業利益である。営業利益率は、企業の収益力を見るための指標であり、売上のうちのどのくらいが営業利益になるのかを見るもの。

$$\text{営業利益率} = \text{営業利益} / \text{総売上高 (受託 + 買付 + 兼業)} \times 100 (\%)$$

2 経常利益率

経常利益とは、営業利益に受取利息や支払利息などの経常的に発生する本業以外の損益を加減して求めたものである。営業利益と同様、企業の収益力を見る指標である。

$$\text{経常利益率} = \text{経常利益} / \text{総売上高 (受託 + 買付 + 兼業)} \times 100 (\%)$$

3 部類別平均単価の推移(消費税込み) 単位:円

部 類	30年度	29年度	28年度	
水 産	1,147	1,115	1,065	
青 果	野菜	246	260	268
	果実	433	418	405
花 き	切花	67	65	66
	鉢物	565	542	533

4 利益率の推移 単位:%

部 類	水 産		青 果		花 き	
	営業	経常	営業	経常	営業	経常
30年度	0.14	0.36	0.02	0.15	0.11	0.25
29年度	0.17	0.46	0.40	0.53	0.13	0.28
28年度	0.31	0.60	0.51	0.69	0.21	0.39

※・年間総括表(市場別・卸売業者別・部類別取扱高)の部類別平均価格による

- ・水産、青果の平均単価は、1kgあたり
- ・花きの平均単価は、切花は本、鉢物は鉢あたり